

川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センターで2003年4月1日～2018年12月31日の間に、上部消化管内視鏡検査を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：H. pylori 除菌治療後に発見された進行胃癌の臨床病理学的検討

研究責任者

川崎医科大学 健康管理学 教授 鎌田 智有

研究分担者

川崎医科大学 健康管理学 教授 高尾俊弘  
川崎医科大学 健康管理学 大学院生 角 直樹  
川崎医科大学 総合内科学2 教授 河本博文  
川崎医科大学 総合内科学2 特任教授 春間 賢  
川崎医科大学 総合内科学2 講師 末廣満彦  
川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波） 教授 眞部紀明  
川崎医科大学 消化管内科学 教授 塩谷昭子  
川崎医科大学 病理学 准教授 秋山 隆  
川崎医科大学 病理学 准教授 物部泰昌

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て2003年4月1日～2018年12月31日の間に川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センターでH. pylori 除菌治療後に上部消化管内視鏡検査を受けられた患者さんの診療録と上部消化管内視鏡検査所見を用いて、H. pylori 除菌治療後に発見された進行胃癌の臨床病理学的所見を検討するための後方視的調査研究を実施します。

本邦ではH. pylori 感染率の低下に伴い、胃癌全体の発症率は低下していますが、H. pylori 除菌治療後の胃癌の占める頻度が増加しています。

本研究は、過去15年間に除菌が施行され、経過観察中に進行胃癌と診断された患者さんを対象とし、その発生部位、肉眼型、組織型、深達度、背景胃粘膜などについての評価を行い、除菌後胃癌の発症リスクについて検討することを目的としています。

研究期間は、2019年2月21日～西暦2021年3月31日の予定です。

治療介入を伴わない既存資料（年齢、性別、疾患、検査内容）を用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は匿名化を行った後に解析されますので、個人情報外部に漏れることはありません。研究結果は学会や学術雑誌等で発表いたします。

この研究に使用した情報は、論文等の発表から5年間保管し、その後は適切に廃棄いたします。

本研究は、研究資金を要しない研究です。本研究に関する利益相反の有無および内容について倫理相反委員会に申告し、適切に管理されています。

研究への参加を希望されない方につきましては研究対象としません。下記までご一報下さいますようお願い致します。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、患者さんに新たな費用負担及び謝礼はございません。この研究にご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。ご希望であれば、他の研究対象者の個人情報及び知的研究財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

**【この研究に関する問い合わせ先】**

研究分担者 : 川崎医科大学 健康管理学 大学院生 角 直樹  
〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577  
電話 : 086-462-1111 FAX : 086-462-1111  
E-mail : [n.sumi@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:n.sumi@med.kawasaki-m.ac.jp)

**【既存情報・情報の提供のみを行う機関】**

医療法人社団玄同会 小島病院・小島 敬太郎  
医療法人創生会 渡辺胃腸科外科病院・渡辺 哲夫  
医療法人敬和会 近藤病院・近藤 秀則